



「あなたはキリスト・イエスにおける恵みによって強くなりなさい」

(テモテへの手紙 二 2章1節)

発行

2012年8月1日 第90号

社会福祉法人 名古屋キリスト教社会館
 発行人／池田巍義
 編集人／湧井規子
 〒457-0805
 名古屋市中南区三吉町6丁目17番地
 TEL／052-612-3370 (本部)
 FAX／052-611-9085
 URL／http://shakaikan.com
 E-mail／shakaikan@shakaikan.com

被災者に対し、申し訳ないと思うかどうか ～福祉の思想とは～

復興庁の調べでは、未だ三〇数万人の方々が、避難生活を余儀なくされておられるとのこと。愛知県にも五百世帯、千二百人を超える方々が地震と津波、原発事故によって避難して来られています。放射能禍は、数十年先に表われるといわれ、自分とはともかく、子どもを守りたいとの思いで避難してこられました。出身地が福島というだけで、大人も子どももいわれなき差別的な言動を

受ける被害にあったという話を聞きました。友だちのいる故郷に早く帰りたいとの思いを募らせている子どもは多いようです。ですので、明るく遊んでいるようにみえて、表情に窮りのようなものを感じることが少なくありません。大人子どもに関わらず、孤独で孤立的な生活環境を余儀なくされています。交流会は、被災者同士が出会い、交わりを深め、少しでも孤独感を解消し、孤立した状態から一歩でも前にすすむようにしたいとお手伝いしています。四回目の交流会からは、数人の避難者の方と相談してとりくむように変えました。交わり具合がぐっと良くなったように感じます。一方、交流会に参加されない方が実は多数です。孤独で孤立化されておられるのではないかと、とても心配です。そのような方々の表立たないニーズをきちんと理解し、そのニーズに応えるにはどのような働きをしたら良いのか。これからの課題です。

名古屋キリスト教社会館では、東日本大震災による被災者支援活動として、被災地でのがれき撤去などの復興支援の活動と、県外避難を余儀なくされて愛知県に仮住まいされている方々のつながりをつくるための交流会実施に関わらせて頂いております。この六月までに、被災地東北宮城に職員らを九回派遣しました。また、五回の避難者交流会の実施に関わらせて頂きました。私自身も、宮城に五回、また、四回の避難者交流会の事務局を担当し、被災地の状況を生身で理解し、県外避難者との交わりをもたせてもらっています。

この六月にも、松島から陸前高田にわたる被災地一帯を視察、仙台市内から車で四〇分ほどの七ヶ浜という地域の田んぼのがれき処理作業も行ってきました。被災地視察では、随分とがれき処理も進んだとの印象をもつ一方、復興という言葉が簡単につかえるような状況ではないとの思いを強くします。津波によって何もかもが無くなっていく情景からは、元に戻るといふ姿が想像できません。

復興庁の調べでは、未だ三〇数万人の方々が、避難生活を余儀なくされておられるとのこと。愛知県にも五百世帯、千二百人を超える方々が地震と津波、原発事故によって避難して来られています。放射能禍は、数十年先に表われるといわれ、自分とはともかく、子どもを守りたいとの思いで避難してこられました。出身地が福島というだけで、大人も子どももいわれなき差別的な言動を

交流会の相談会の時、避難者の方から、「どうしてこんなによくしてもらえるのでしょうか」と聞かれた事があります。不幸な境遇にある人を見て、自分は不幸な目に遭わずに良かったと思うのか、反対に、自分は不幸に遭わずに申し訳ないとの思いをもつのか。この両極端な考え方は、人間だれしも合わせもっているのではないのでしょうか。前の考えが強くなるのか、後者が勝るのかによって、その行動は正反対なものとなります。福祉に携わる者の利点は、後者の思いが強められると、私は福祉の仕事に従事させてもらっている喜びを覚えていきます。更には、キリスト教の教えが、この考えを一層深め、強めてくれているのだと確信する昨今です。

谷川 修(常務理事)

名古屋キリスト教社会館の使命

名古屋キリスト教社会館は、創立の精神に基づき、次の使命を担います。

1. すべての人々がかけがえのない存在として人権が保障され、自立した人間として成長していただける社会を築くことをめざします。
2. 隣人とのあい、ふれあい、そだちあいを大切にし、ともに地域の課題を担うことを通して福祉の輪が広がるように努めます。
3. 世界の人々との交わりを通して、福祉社会の実現のために働きます。

- 菜の花保育園
- 子育てセンターなのはな
- 名古屋ユースセンターACT
- ちどり児童会
- デイサービス友
- デイサービス愛
- 居宅介護支援事業所
- 配食サービスゆうの里

コミュニティ
ケア部門

- 発達センターあつた
- デイサービスあつた
- 発達センターちよだ
- デイサービスちよだ
- ホーム社会館
- のどか・うらら・天歩・しゃかいかん・いっぽ
- ヘルパーステーションびぼと
- 活動センターねーぶる

- 南部地域療育センターそよ風
- 愛育診療所
- デイサービスみどり
- デイサービスACT
- 南区障害者
- 地域生活支援センター

障害児者
福祉事業部門

事業所紹介

ルカによる福音書

10章25〜37節

「自分を大切に思うのと同じくらいに、あなたの隣人を大切にしないさい。」この実践を求めるイエスに対して、律法の専門家は「わたしが大切にするべき隣人とは、いったいどのような人のことなのでしょう。」と問いました。

イエスがこれに答えて語られたたとえ話は、質問者に発想の転換を迫るものです。ここに登場する追いはぎに襲われた旅人、そして傷つき倒れている旅人に近づくことを避けた祭司とレビ人。これらの人は皆ユダヤ人です。もう1人登場するサマリア人とユダヤ人との関係は、現在のパレスチナとイスラエルの関係に似ています。両者には長い敵対の歴史があり、サマリア人たちはユダヤ人たちから取り囲まれ蔑視されながら過ごしていました。

このことを背景にしながら、このたとえ話は語られています。エルサレムからエリコまでの20数キロの道は砂漠同然の荒れ地です。旅人は追いはぎに襲われ、動けなくなるまで殴られ、身ぐるみはぎ取られてうち捨てられてしまします。そのまま放置されれば、炎天下で、やがて衰弱し命は長く続かないであります。

追いはぎに襲われた人が倒れているということは、そこ

「自分を大切に思うのと同じくらいに」

が危険な場所であることの印です。祭司とレビ人は、それぞれにそんな危険な場所に近づくことを避けて、自分の身の安全を確保しようとしませんでした。自分の身の安全を守るために、倒れている人を放置し、見捨てることを選んだのです。

これに対して、サマリア人は自分の身の安全を確保するよりも前に、倒れている人の苦しみ、痛みを心で寄せ、そこから回復することだけを求めて、できる全てのことを提供してやります。傷の手当てをし、宿まで口

バに乗せ、一晩介抱してやり、自分の生活を脅かすかもしれないほどの費用負担をしてやります。

ユダヤ人たちから敵視され、軽蔑され、ユダヤ人に対して憎しみを抱いても不思議ではない人です。たとえ話を聞いている律法の専門家にとっては、地続きの隣に生活する敵であります。彼にとっては、大切にすべき隣人の範疇には全く入っていません。

存在です。この質問者にイエスは、傷ついたユダヤ人の隣人になったのはサマリア人だと迫られるのです。あなたが敵視し、軽蔑しているサマリ

ア人こそが、あなたを介抱し、あなたを支える隣人になるのだと。

このイエスのたとえ話で気づかされることがあります。律法の専門家の、わたしが大切にするべき隣人とはだれなのかとの問いは、裏返せばだれなら大切にしないでも良いのかと問うていることと同じなのだとすることに気づかれます。

これに対して、イエスは大切にしないでもよい存在などないのだと応じられたのです。

1人ひとりの命を大切に支える福祉において、この聖書はとても大切な問いかけをしていますように思います。社会福祉事業は、社会的に重要な働きとして位置づけられ、多くの働きが展開されています。しかし視点を改めてみると、制度として位置づけられているということは、この制度を支える社会が持つ価値観の制約の下に置かれているということでもあります。その制約の枠の外に目を向けることが、この聖書から呼びかけられています。

名古屋中央教会牧師

森田 喜之



貸借対照表

2011.3.31

単位：千円

資産の部		
勘定科目	一般会計	公共事業会計
流動資産	466,927	30,549
基本財産	944,805	0
その他の固定資産	274,924	12
資産の部合計	1,686,658	30,561
負債の部		
勘定科目	一般会計	公共事業会計
流動負債	52,811	3,827
固定負債	247,405	0
基本金	251,216	0
国庫補助特別積立金	305,161	0
その他の積立	151,976	0
次期繰越活動差額	678,086	26,734
純資産の部	1,386,440	26,734

差引純資産 1,413,174,935 円

当法人では、宮城県七ヶ浜町での震災支援活動、原発事故等県外避難者の方の「ふるさと、めぐりあい交流会」を通じた支援を行いました。被災地での瓦礫処理、家の片付け、避難者の方の声に耳を

二〇一一年度
決算及び事業報告

傾けることができました。名古屋キリスト教社会館の設立の原点を思い起こし、地域福祉のあり方を問い、実践していくことが求められています。福祉、社会保障の面では、少子高齢化の名のもとに、サービスを呼び、買う方向への制度転換がすすんでいます。人権と発達保障にたち、多様性を認め合い、ともに生きることを大事にする文化土壤を創って行くことが、介護、福祉、教育に求められています。

●主な事業・活動は以下のとおり

「東部地域療育センター」整備・運営法人の公募に応募し、九月に設置法人に選定されました。長年の子どもとその家族の願いが実現に歩みだしたことは大きな成果です。この事業を推進するために、「建設委員会」を設置し、建物整備、療育システムの検討を具体的にすすめる、二〇一四年四月の開設計に向けて準備を進めています。

また、名古屋市の待機児対策に応え、「賃貸物件による保育所整備の公募」に応募しました。高齢事業では、二ヶ所のデイサービスが、利用者の方の要望に応え、安定した運営を図るにいたっています。障害者支援センターでは、五ヶ所目のケアホーム「いっぽ」を開所し、二十二名の利用者が、地域で暮らしています。一人ひとりの生活を基本に地域行事への参加、生活を豊にするとりくみをすすめています。

●寄せられた苦情とその対処

事業施設に対して苦情が何件か寄せられました。内容は、保育、療育、介護の具体的場面のものです。苦情を真摯に受け止め対応させていただくとともに、苦情委員会において、苦情への対応、解決に向けての検討を行いました。

●献金とその使途

東日本大震災への支援金を呼びかけさせていただき、利用者や地域の方、職員から大きなご支援のもと二百万円ほどの支援金をいただきました。六回の宮城県七ヶ浜町への支援活動、県外避難者の方の四回にわたるふるさと交流会に活用させていただきました。ほか、クリスマス献金などを受領し、法人本部寄附金収入として計上いたしました。

2011 年度事業活動収支決算書

単位：千円

		法人合計	法人本部	菜の花	そよ風	デイ友	デイ愛	ケアホーム	あつた	ちよだ	びぼっと	ねーぶる	児童デイ	名南ユース	前年度	公益事業会計
事業活動収支の部	収入	介護保険収入	66,725	0	0	49,215	17,510	0	0	0	0	0	0	0	59,916	8,816
		自立支援費等収入	451,828	0	0	7,497	4,518	65,864	73,226	44,867	51,866	72,542	47,874	0	425,694	0
		利用料収入	25,538	0	6,875	2,988	1,121	8,796	0	0	0	0	0	5,755	22,559	4,243
		措置費収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		運営費収入	132,406	0	132,406	0	0	0	0	0	0	0	0	0	125,023	0
		その他の事業収入	35,285	486	0	34,548	0	0	0	0	0	0	250	0	32,263	22,856
		経常経費補助金収入	363,669	0	78,681	170,062	0	8,940	26,858	26,594	21,495	25,763	608	4,665	337,868	5,713
		寄付金収入	11,683	9,247	139	486	0	0	430	248	0	700	31	400	13,306	0
		雑収入	13,902	9,983	277	253	2,065	72	70	3	370	739	63	0	12,587	0
		退職給与引当金戻入	7,241	0	1,697	1,813	0	0	3,172	0	558	0	0	0	2,901	0
事業活動外収支の部	収入	借入金元償還補助金収入	13,460	1,358	2,544	3,720	2,338	0	0	0	1,540	1,960	0	0	16,159	0
		国庫補助金等特別積立金取崩額	13,855	375	1,658	6,376	2,090	247	275	0	215	2,610	6	0	17,559	0
		事業活動収入計	1,135,597	21,452	224,282	300,832	66,195	83,847	104,033	71,713	76,045	104,316	48,835	10,820	1,065,840	41,636
	支出	人件費支出	897,890	2,383	182,338	256,166	37,583	16,122	70,569	57,899	65,056	85,466	27,090	6,669	862,171	2,467
		事務費支出	84,624	5,944	21,284	27,428	5,222	1,161	2,377	3,871	4,666	4,188	3,609	795	102,545	2,898
		事業費支出	76,526	0	17,895	7,821	8,907	9,662	6,713	4,791	1,926	6,568	6,235	2,503	71,095	1,890
		雑損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		減価償却費	43,854	4,469	6,786	14,225	6,343	47	332	755	2,212	6,242	11	1,044	45,794	3
		退職給与引当金繰入	1,620	0	1,620	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		事業費活動支出計	1,104,516	12,797	229,925	305,641	58,058	20,834	102,713	67,317	73,860	102,466	36,946	11,012	1,081,606	29,467
特別収支の部	収入	借入利息補助金収入	2,351	0	241	458	231	0	0	0	624	795	0	0	2,711	0
		受取利息配当金収入	119	54	13	23	7	1	4	0	2	5	1	1	214	0
		会計単位間繰入収入	12,000	3,400	0	8,600	0	0	0	0	0	0	0	0	15,670	0
		経理区分間繰入収入	64,256	7,050	37,551	18,200	1,455	0	0	0	0	0	0	0	128,299	0
		事業活動外収入計	78,727	10,504	37,806	27,282	1,694	0	1	4	627	801	1	1	146,895	2
	支出	借入金利息支出	3,198	392	301	573	276	0	0	0	728	926	0	0	3,671	0
		会計単位間繰入支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		経理区分間繰入支出	64,256	57,206	0	690	890	0	490	360	40	410	4,160	20	128,299	0
		事業活動外支出計	67,455	57,598	301	1,263	1,156	0	490	360	768	1,336	4,160	20	131,970	12,000
		経常収支差額	42,353	-38,439	31,861	21,210	8,674	2,389	835	4,035	2,046	1,313	7,730	-212	-841	169
繰越活動収支差額	収入	施設整備等補助金収入	391	0	0	0	0	0	0	0	0	0	391	0	5,450	0
		国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		施設整備等寄付金収入	17,852	8,572	0	9,280	0	0	0	0	0	0	0	0	18,608	0
		特別収入計	18,243	8,572	0	9,280	0	0	0	0	0	0	391	0	24,058	0
	支出	基本金収入額	17,852	8,572	0	9,280	0	0	0	0	0	0	0	0	27,132	0
		固定資産処分損	65	0	26	26	12	0	0	0	0	0	0	0	458,729	0
		国庫補助金等積立金積立額	391	0	0	0	0	0	0	0	0	0	391	0	0	0
		特別支出計	18,309	8,572	26	9,306	12	0	0	0	0	0	391	0	27,590	3
		特別収支差額	-65	0	-26	-26	-12	0	0	0	0	0	0	0	-3,532	0
		前期繰越活動収支差額	638,610	85,458	46,101	216,035	87,585	-6,365	24,155	25,395	41,528	112,114	34,148	-24,735	556,933	26,567
		当期末繰越活動収支差額	680,898	47,019	77,936	237,219	96,247	-3,975	24,990	29,436	43,574	113,428	41,878	-24,947	552,559	26,734
		その他の積立金取崩額 (+)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	95,362	0
		その他の積立金積立額 (-)	2,811	2,728	3	0	1	0	0	0	0	78	0	0	9,316	0
		次期繰越活動収支差額	678,086	44,290	77,932	237,219	96,246	-3,975	24,990	29,431	43,574	113,350	41,878	-24,947	638,605	26,734

*注1 千円未満切り捨て表示のため、縦計、横計の誤差があります。*注2 びぼっとは、ショートステイ、ホームヘルプ、相談支援を含みます。*注3 児童デイは、ACT、みどり、あつた、ちよだの4事業所の計



菜の花保育園

五月十七日、年長組のきょうりゅうぐみで、田植え遠足（ボランティアの梅本さんの岡崎の田んぼ）に行ってきました。田植えや田んぼの生き物が出てくる絵本を見たり、写真を見ながら期待を高めてきました。

田んぼでは、初めての経験に「うわあゝむにむむにむむする！」「ちよつと気持ち悪い。でも気持ちいい」「あつ、こは温かいけど、こっちは冷たいよ！」と子どもたち。慣れてくると友達と走り回り、腹ばいになって泳いだり、手をつないで飛び込んだりと、歓声をあげながら身体中で泥の感触を楽しみました。

たくさん生き物にも出会いました。かえるの卵やおたまじやくし、あめんぼかなとよく見るとクモが水面を泳いでいて、「えーっ、こんなところにクモがいるー!!」と保育者も子どもたちも驚きの発見でした。

また、田植え後、里山を探索していると道端に穴をみつけ、「これってへびの穴？出てきたらどうする？」とドキドキワクワク。「あつ！こっちは小さいへびの穴で、こっちは大きい穴は大きいへびがいるんじゃない?!」と一人の発見が友だちにも広がります。

楽しかったことを胸に「ただいまー!!」とバスを降りると、真っ先に保育園で待っていた友だちに「ほら、これ梅ちゃん田んぼで捕まえてきたんだよ！」と嬉しそうに見せていました。じーっとのぞき込み、「おつ、動いた!」「かえるの卵、スルスルする」と笑顔が広がります。友だちと一緒に嬉しさを分かち合っています。

七月には、子どもたちが楽しみにしている一泊二日の夏山合宿に行きます。大自然の中でいっぱい遊ぼうと相談しています。

(角田 琴美)

TEL 612-3361
FAX 612-8893



発達センターあつた

笑顔であそんで！からだを動かして！飲んで！お父さんの仲間づくり

六月三日（日）に、「お父さんとあそぼう会」を行いました。午前中は、子どもとお父さんが二人で一緒にあつたで過ごしました。子どもと登園してきたときにはとっても緊張していた方もダイナミックな揺さぶりあそびや、普段子どもたちが楽しんでいる新聞紙あそびや小麦粉あそび、砂あそびを楽しみリラックスムードに。お父さんと一緒に食べた給食のカレーライス、おいしかったねとお父さんの笑顔も次第にみられるようになって、子どもたちもとてもうれしそうでした。午後からは、あつた恒例の園内環境整備！OBのお父さん方にも参加いただき、総勢三八名で、今年のは園庭の側溝掃除、二階のペンキ塗り、草取り、木の剪定など、園舎や園庭をきれいにすることができました。汗をいっぱい

いかき、からだを動かしてももらったあとは、交流会をしました。今年度は、発達センターあつたを最初に卒業したお子さんのお父さんから当時のエピソードも含めた子育てトークをしていただきました。なかなか先輩お父さんの話を聞く機会がないお父さんにとって、貴重なお話だったのではないのでしょうか。そのあとは一緒に園庭整備に参加されたOB、在園児のお父さんが自己紹介をしながら交流しました。お父さんたちは普段なかなか子育ての話をする機会がないのですが、園庭整備やこういった交流会、あつたかカーニバルなどをきっかけに、「一生付き合っていけるパパ友づくり」につなげたいと思います。

(前橋 裕子)

TEL 681-1167
FAX 681-1178

きずな・えがお・なかま

ねーぶる 活動センター

ぼちぼちカフェついにオープン！

「いらっしやいませー」木曜日の午前、活動センターねーぶるの、ぼちぼちカフェ、から元気な声がかかります。今までは、内部の方のみの訪問販売でしたが、お客さんを招いて本物のカフェを行いたい！という、スタッフと仲間の強い思いと、周りの方々の協力によって、今年度の春、ねーぶるの一階にあるカフェスペースにて、念願のカフェがオープンしました。注文を受けたコーヒーは、全部手挽きで、1杯淹れるにも時間を要します。オープンを決めるまでは、大量注文に対応出来ないのでは、等、出来ない事で悩む日々でしたが「仲間が中心となったカフェ」というスタッフ皆の願いから、仲間と一緒に出来るカフェを作ろう！という結論に至りました。その結果、木曜日の午前のみのオープンで、完全予約制。今は、地域子育て支援センターなのはな先生や、なのはな遊ぶ会に参加されているお母さん方がお子さんと来て下さっています。お母さん方は先生とお話しをしたり、子ども達はおもちゃで遊んだり、来店されている一時間、カフェはとても賑やかです。最初は、お客さんが来ると緊張して、こわばった表情だったJさん。最近では一緒に来店した子ども達がかわいくて仕方ないよう、ずっと笑顔で子ども達を見守ったり、顔を覗きに行ったりしています。Mさんは知り合いの先生と話したり、子ども達に名前を聞いて「またね」と手を振っています。お客さんと接する時の仲間達は、一段と生き生きしています。

やつとスタートラインに立ったぼちぼちカフェ。いつか、地域の方々が気軽に立ち寄れるカフェになるを目指して…。

(渡辺 未規)

TEL 611-0707
FAX 746-0869



デイサービス友

野の花の可憐さに喜びを

デイサービス友、愛では華原の会の家元をお迎えして花・フラワーアレンジメントの取り組みを行ないました。「ヒメジョオン」「どくだみ」「きんしはい」「いたどり」「アルストロメリア」「げいげい草」どれも道端や空き地に育つ「雑草」です。

当日は先生から草花の紹介をしていただいた後一人ひとり思い思いにオアシスに活けていきました。

オアシスを入れる花瓶は牛乳パックに好きな柄の布を張って手づくりしたものです。

一本ずつ高さを確認しながらハサミで切ってオアシスにさしていく方。大胆にまとめてそろえていける方。花の色や形、表現したり、「ななさん真剣な表情で取り組まれました。」

同じ花や葉を使っている一つとして同じ作品は、御自身でいけばなをテーマを考えて「初夏のかがやき」「むらさき」と、表現したり、「ななさんでもかんでも」といってみなさんの笑いを誘ったり、利用者さんが個性を発揮し楽しさをみなで共感しあいました。

「野の花をいける」喜びをまた先生をお迎えして開きたいと思っています。

(久納 満喜)

TEL 612-3077
FAX 611-9085



(安藤 典明)

めぐり合い交流花見会報告

震災による被災で愛知県に避難された方々とともに、満開の桜のもと「めぐり合い交流会」ふるさと花見会」を開催しました。

四月八日(日)お日様が降り注ぎ、桜咲きほこる発達センターあつた園庭に、十七家族四六名の方々と百名をこえる関係者、ボランティアがつどいました。今回初めて、被災者の方々にも実行委員会に入っていたき準備をすすめてきました。故郷の味「浪江焼きそば」等盛りだくさんの屋台とボランティアバンドの舞台もあり、大人も子どもたちも楽しいひと時となりました。

テレビから流れる緊急速報の「ピピッ」という音に震災時の怖さがフラッシュバックしおびえる子どもたちがいるそうです。不安を忘れ楽しく過ごせてよかったと思います。後日行った反省会で「招かれるだけでなく自分たちでつくり、発信することが大事」という意見が出されました。被災された方たち自身が求める「めぐり合い交流会」となるよう、今後も関係団体とともにサポートしていきたいと思えます。

発達センターちよだ 第10回なつまつり

今年も恒例のもちまきを行います！
たくさんのお店があって、おいしいものがいっぱいですよ。
第10回ということで、「10」にまつわる催しやお店があります。
充実した夏の夜を楽しみましょう♪

日時：8月25日(土)
17:00～19:30
場所：発達センターちよだ
(守山区小幡千代田24-17)

あつたか Vol.9 カーニバル

日時：2012年9月1日(土)
16:30～19:00
順延の場合、9月2日(日)
16:30～19:00
*大雨、台風等で順延の場合、
社会館のホームページに掲載します。

場所：発達センターあつた
(熱田区神宮4丁目9-12)

舞台や模擬店、あそびコーナーや豪華景品が当たる?!抽選会など、楽しい企画が盛りだくさん!!ぜひあそびに来て下さい!!

第31回 社会館 夏まつり

日にち：8月25日(土)
時間：17:30～20:00
場所：源兵衛公園
(南区源兵衛5丁目)



今年も社会館夏まつりの季節がやってきました。
地域恒例の一大イベント。夏の終わりのひと時をぜひ社会館夏まつりで過ごしてください。
夜店、盆踊りetc 盛りだくさんですよ!

苦情申し出の窓口

苦情の申し出窓口は、各事業所掲示板等に掲示しています。苦情受付者は主任、解決者は事業所長が基本です。

法人への苦情は、
本部事務局
612-3370
へお願いします。

また、法人職員ではなく、第三者の立場として苦情を受け付け、より良い解決へと導く立場の者として、第三者委員を選任しています。

第三者委員は、
加藤 考一 **613-2718**
小林 冨子 **611-0401**

社会福祉法人名古屋キリスト教社会館

参加費
無料

創立記念日 記念講演(公開)

テーマ：「生きづらさを生きる人々と福祉に携わる私たち」
～貧困問題の渦中で奮闘する、
雨宮処凛が語る～

講師：雨宮処凛氏(作家)
日時：2012年9月26日(水)
午後3時～5時
会場：ウインクあいち 小ホール

問合せ先 いずれも名古屋キリスト教社会館事務局

社会福祉法人名古屋キリスト教社会館
社会福祉研究所

参加費
無料

開発途上国支援を考える 特別講演会(公開)

テーマ：「あきらめなければ、夢はきっとかなう」
～南アフリカ・ケニア最大のスラム街キベラで、
子どもたちと共に生きる早川千晶さんの活動に
出会う～

講師：早川千晶氏(フリーライター)
日時：2012年9月9日(日)
午後3時～5時
会場：日本キリスト教団 名古屋中央教会

TEL 612-3370 / FAX 611-9085

編集後記

今号から、お手軽料理教室を再開します。昨年度は社会館が行う震災支援報告のためにお休みしていましたが、好評な連載であったこともあり復活です。作ってみたいの感想などお聞かせください。他にも「こんな

記事があったら面白い」「こんなことが知りたい」などありましたら、事務局までお寄せください。なお被災地への支援は今後も続ける予定で、引き続きこの紙面にてお伝えします。

(A.S.)

お手軽

お料理教室

おすすめおやつ!ホットケーキミックスをフル活用!!
夏休みに子どもと一緒に作ってみよう!

ホットケーキミックスを使って蒸しパンやホットケーキ、ドーナツを作っちゃおう!!

〈朝食にもおやつにも変身!! おすすめ具材例〉

ハム、ソーセージ、蒸し大豆、蒸し黒豆、チーズ、ベーコン、ツナ缶、クリームチーズなど
人参、南瓜、ひじき、コーン、枝豆、空豆、栗、おから、豆腐、蓮根、ほうれん草、さつまいもなど
果物(ハチマキ、みかん、バナナ、レーズン、りんご、柿、パイナップル、桃缶など)
きな粉、そば粉、抹茶、ココア、全粒粉、上新粉など

例えば…

人参のすりおろし、ツナ缶、チーズを具にしてホットケーキに、リング型やパウンド型に流し込んで蒸せば蒸しパン風に、好みに油かバターを加え、型に流し焼けばケーキ風に、生地がまとまるくらいの水分で丸めて油で揚げればドーナツに…というアレンジになります。

沢山作って、冷凍しておけば、とっても便利ですよ!!

(南部地域療育センターそよ風 栄養士 小原 千里)

ぴぽっとオーブンハウス への

ご参加・ご協力、ありがとうございました。

6月23日(土)社会館地域生活支援センターぴぽっとにて開催しました。障がいのある仲間たちの普段の活動の様子の紹介や、やさしと・みたらし団子・日用品などの模擬店を出店しました。たくさんの地域の方に足を運んでいただきました。ありがとうございました。今後も地域の方々にも参加していただける取り組みを続けていきます。(神谷 友之)

献金・協賛報告

ご協力頂いております方々のご芳名を掲載し、報告とお礼とさせていただきます。(敬称略・順不同)

〈一般寄付〉

和泉短期大学、日本基督教団東海教会、吉田節子、坂倉由紀、金城学院、宇田哲也、葉師寺、田島宣人、松本勝正、白石淑江、鈴木武二、高橋昭彦、鳥井一夫、愛知西部地区教会、婦人会連合

〈クリスマス献金〉

日本キリスト教団赤池教会、刈谷教会CS、高蔵寺ニュータウン教会フレンズチャペル

〈後援会献金〉

田中友安、澄子、岩田悦、宇田哲也、高森敏子、日本アライアンス教団名古屋キリスト教会

〈震災献金〉

加藤峯子、小林冨子
(以上 12・3・9 / 12・6・30まで)